

自然科学のとびら

Newsletter of the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

Vol. 11, No. 3

神奈川県立生命の星・地球博物館

Sept., 2005



黒いアカトンボ 青いアカトンボ

左：交尾中のマダラナニワトンボ
(上：♂/下：♀)

Sympetrum maculatum

2003 年 10 月 山形県飯豊町

右：ナニワトンボ (♂)

Sympetrum gracile

2004 年 10 月 滋賀県大津市

かるべはるき
荻部治紀 (学芸員)

秋といえばアカトンボ。「赤トンボ」ですから、普通は赤いわけですが、生物の世界には例外がつきものです。今回はそうした‘変りダネ’を紹介します。

マダラナニワトンボ：「黒いアカトンボ」です。日本特産種で本州のみに分布します。丘陵地の水のきれいな浅い池に生息しますが、草丈の低い湿地に産卵するため、ヨシが侵入すると生息できなくなります。水質汚染や池の埋め立て、植生の変化などで絶滅した産地が多く、今では全国で 30 箇所ほどしか産地が残っていません。

ナニワトンボ：「青いアカトンボ」です。日本特産種。近畿地方から四国の北部に分布します。おもに秋にため池の水を抜いたあとに生じる湿地部分に産卵します。関西には多くの産地がありましたが、水質汚染や池の埋め立てとともに、近年水抜きをしなくなった池が増え、絶滅した産地が多くなっています。

両種とも人間の作ったため池と深いかわりを持って生活してきましたが、近年の農業形態の変化に伴い、絶滅への道をたどっているわけです。